

特集

戦国武将 長宗我部元親



——四国をわしづかみ——

「姫若子」から「土佐の出来人」へ

元親の歩み

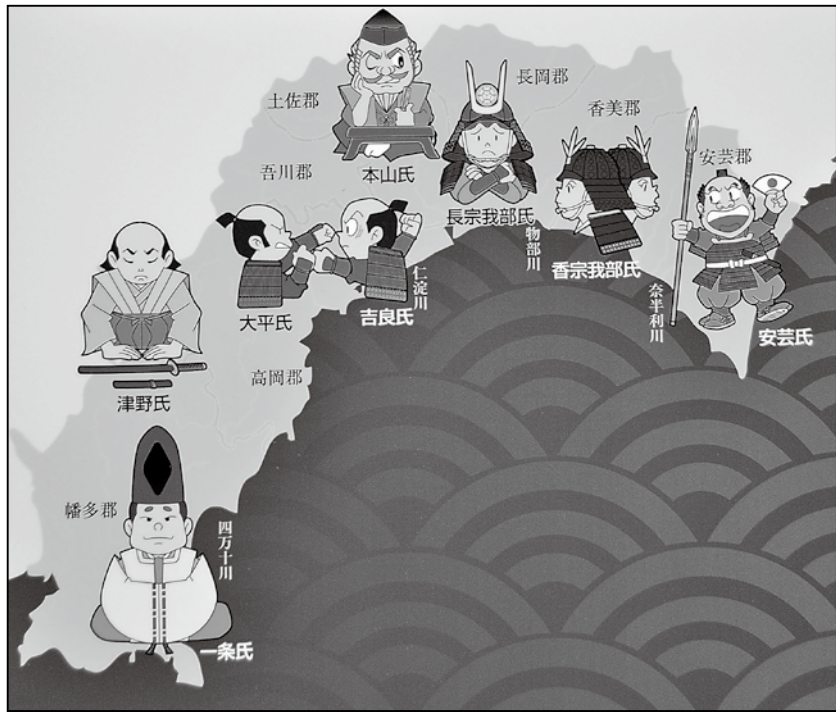
元親は1539（天文8）年、国親の長男として岡豊に生まれました。幼少のころは、色白でおとなしく、「姫若子」と呼ばれていました。

軍事、外交に長けた、父国親から見れば、頼りなく思われていたのか、元親の初陣は22歳と遅く、1560（永禄3）年「長浜戸の本の戦い」の時でした。

ところが、この戦いでの奮戦ぶりは見事なもので、この時から「土佐の出来人（土佐にあつて行く末頼もしい人）」と仰がれるようになります。

この年、父国親が突然病死し、第21代当主となります。くしくも織田信長が桶狭間で今川義元を奇襲攻撃し、天下人への足掛かりをつかんだ年でした。

当主となった元親は、本山氏との死闘に打ち勝って朝倉城を奪い、土佐中央部を手中に収めます。さらに、本山氏、安芸氏、津野氏らを降伏させた後、土佐一条氏の領地を併せ、15年かけて土佐を統一します。



勢力分布図（一条氏と土佐の七守護）

た元親は、「四国は好きに切り取るがよい」という信長からの朱印状を得て、十年かけて四国をほぼ平定します。そして、さらなる天下取りを夢見ます。

秀吉が派遣した、11万の軍勢の前に降伏します。そして、土佐一国を領地として秀吉に仕える一大名となります。居城も、愛着のある岡豊山から大高坂城（現高知城）へ、そして浦戸城へと移転します。四国の覇者元親でしたが、時の天下人にほんろうされ、滅亡の道をたどることとなります。

高知は今、これまでにない龍馬ブームに沸いています。その龍馬からさかのぼること約三百年。私たちの郷土、岡豊山を居城にして、戦国時代を果敢に生きた武将がいます。

その名は、長宗我部元親。人気ゲームのキャラクターとして、最近、若者に人気の武将です。土佐の歴史に関心を持つ人が多くなっている今、土佐を統一し、四国をほぼ平定した地元の勇者を知り、郷土の歴史を知るきっかけになればと、県立歴史民俗資料館の宅間一之館長、土佐のまほろば地区振興協議会の村上隆夫会長にご協力いただき、特集「戦国武将 長宗我部元親」を組みました。

1539（天文8）年	元親誕生。
1560（永禄3）年	元親初陣。戸の本の合戦。父国親病没後、第21代当主となる。
1562（永禄5）年	本山茂辰を朝倉城に攻める。
1563（永禄6）年	美濃国から正室を迎える。
1569（永禄12）年	安芸国虎と戦う。
1575（天正3）年	一条兼定と戦い、土佐を統一。
1582（天正10）年	本能寺の変。信長没。
1583（天正11）年	秀吉、大阪城築城に着手。
1585（天正13）年	四国をほぼ平定するが、秀吉の四国征伐に降伏。土佐一国の主となる。
1586（天正14）年	戸次川合戦。長男信親が戦死。
1587（天正15）年	検地を始める。
1588（天正16）年	岡豊城から大高坂城に移る。
1591（天正19）年	浦戸城を構築。
1597（慶長2）年	長宗我部元親百箇条を制定。
1599（慶長4）年	元親、京都伏見で没。61歳。